



児童文化館の「くるくるアニメ教室」で、鏡に映る自作の動画を楽しむ児童

広報
No.640

させぼ



広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集 生活習慣を見直して 健康な体づくりを

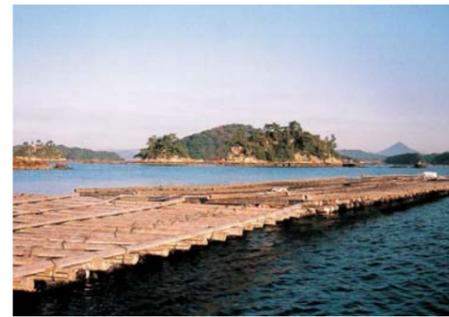
2~5 p

今月の主な内容

異動シーズンの窓口利用、市町村合併など	6~9 p
市民の広場	10~11 p
施設だより、イベント	12~13 p
歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド	22~23 p
九じろうの取材日記	24 p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



九十九島の沖合いに浮かぶカキの養殖 筏

海のミルクと呼ばれるほど栄養
価の高いカキ。
九十九島のカキも一番おいしい
季節を迎え、西海パールシーリ
ゾートでは、2月1日~15日に
「九十九島かき食うカキ祭り」が
開催されました。

九じろうの 取材日記

九十九島かき食う カキ祭り

「こじは少し小さめですが、
甘味は十分あっておいしいです
よ」と、作業中の末竹さんたちか
らは笑顔がこぼれ、カキは九十九
島の海から次々に引き揚げられま
した。

種を
まいてから、8カ月~12カ
月ほどのカキです



クレーンを使って、
ワイヤーで引き揚げ
られるカキ

甘味たっぷりな九十九島のカキ
を楽しんでください
祭りの主役は、もちろん西海国
立公園の美しい海で育った南九十
九島産のカキ。
祭り初日を2日後に控えた早朝、
させぼ南九十九島かき生産者会の
末竹輝信さんの養殖筏を訪ねまし
た。



「会場の雰囲気が好きで、毎年
家族で来ています。身が大きくて
ことしのカキもおいしいですよ
と話してくれたのは、皆さんカキ
が大好きだという高梨町在住の中
島さんご一
家写真上）。
7歳の彩美
さんと4歳
の英恵さん
も、焼きた
てであつあ
つのカキを
口に入れて
にっこり。



炭火を囲み、焼きたての新鮮な
カキを楽しむ人でにぎわう会場

炭火で焼いた新鮮なカキを満喫
祭りの初日は、朝からあいにく
の曇り空でしたが、九十九島を望
むデッキに設置された約三百の炭
火焼セツトは、昼前にはほぼ満席
となる盛況ぶり。会場には香ばしい
焼きたてのカキのにおいに包まれ
ました。

編集長から「一言」
今月の特集は、家族の生活習慣
を見直す良い機会となりました。
日ごろから、何にでもしようゆを
かけたがる父と、明らかに運動不
足気味の母。10年後の元気な姿を
想像するために、きょうも愛情深
い娘の厳しい
チェックが入り
ます。(A)

カキを囲んで会話を弾ませる来
場客の笑顔が、祭りをより一層盛
り上げました。

1杯200円、約300食限定
で販売されたカキ大鍋
には行列ができました



カキや白菜、ネギなど
の具がたっぷり入った
みそ仕立てのカキ大鍋



広報 させぼ

3月1日発行